

ごあいさつ

からだのとしょかんは1997年5月から活動を開始しました。早いもので今年の5月で丸12年になります。

このたび「からだのとしょかん通信」という広報紙を創刊しました。資料やインターネットのサイトの紹介をしていきますので、ご利用ください。

2009年



からだのとしょかん通信

2009年1月号

か

からだのとしょかん とは

わかりやすい医学・医療関連図書を
集めた情報コーナーです。



- **場 所** 外来棟 2階
- **開館日と時間** 月～水、金曜日：午前10時から午後3時まで
- **休館日** 木、土、日曜、祝日
- **どんな情報が?** 医学辞典や病気の解説、健康雑誌などわかりやすい医学・医療関連図書、食事療法、体験記など、お役立ち情報です。インターネットにも接続しています。
- **貸出は?** 1回3冊まで、1週間(外来患者さんは原則2週間) 無料です。当院の患者さんとそのご家族であれば、どなたでも利用できます。
- **ご利用の注意** 特定の本や治療法を薦めるものではありません。ご自身の病気や症状と必ずしも同じものではないかもしれません。病気や健康に関する知識と情報のすべてではありません。主治医との具体的な話し合いの材料としてご利用いただければ幸いです。

担当は・・・

室内で応対しているのはボランティアです。

「新潟ホスピス・ボランティアの会」のみなさんです。

本を探すお手伝いや、貸出の手続きをしています。よろしく願いいたします。

本の紹介



抗がん剤治療や放射線治療によって起こる様々な症状への対応を、「食事」を中心にまとめた冊子です。

症状に合わせたメニューや、調理方法の工夫を紹介していますので、参考にしたいかがでしょうか。

(がんの社会学に関する合同研究班発行 2007)

1月の雑誌から

雑誌特集記事の紹介

- ・『がんサポート』66号
がんの検査
- ・『がん治療最前線』
9巻2号
乳がん治療の新機軸
- ・『きょうの健康』1月
慢性腎臓病

好

評です

がん研究振興財団の やさしいがんの知識



入り口前の展示棚に見本を置いています。

欲しい方は中にありますので、お声がけください。

(一部品切れのものがあります。)

「私たち一人ひとりが、がんに関する正しい基礎知識を身につけながら、がんという病気との関わり方 — ときには闘い、ときには共存— について、医師をはじめとする保健・医療・看護に携わる人々や家族など関係者とよく話し合い、どのように対応していくか、ともに考え、ともに理解を深めていくことが、一層必要となっているように思われます。これらの小冊子は、そのための一助にと願って、がんの「予防」「診断・治療」「社会復帰」「緩和ケア」といった一連の流れに沿って現在の考え方をまとめてあります。」
—がん研究振興財団ホームページから

<http://www.fpcr.or.jp/publication/>